

将来の公共施設に関する意見聴取 結果

1 意見聴取の概要

令和8年度の区有施設見直し方針及び計画の改定に向けて、令和7年8月に区ウェブサイトにて「公共施設等マネジメントの推進に向けた基本的な考え方」を公表し、意見聴取を実施した。お寄せいただいた意見の要旨をとりまとめている。

なお、長文にわたるもの、重複、具体的な名称等は、趣旨を損なわない範囲で、一部省略、追記、要約または分割している場合がある。

2 実施方法

○募集期間 令和7年9月19日(金)から令和7年10月31日(金)まで

○周知方法 区ウェブサイト、LINE、X、WEB説明動画

3 提出者数 12名・団体

意見数 45件

提出者	枝番	意見内容(要旨)
1	1	バリアフリー・ノーマライゼーションを意識した施設としてほしい。
2	1	公園等で幾らかでも運動のできるスペースのある所に、所謂“壁打ち”ができる壁を作ってもらえないか。少しでも運動できる環境を作る事が望まれて居るはずですが、公共施設系は管理が楽な方向に行くばかり。以前は駒沢公園には、ラグビー場脇に長い壁があって、いつも20人程の人が、テニスの壁打ちをしていた。それが今ではその壁にわざわざ凹凸をつけて、できなくしてあり、施設内の壁と言う壁にわざわざ凹凸設置して、更にプール等は何年も工事中のまま。実に腹が立つ。こんな考え方自体も何とか変えてくれませんか？
3	1	区民施設の数とサイズを維持するには人が集まりお金を落とす施設を作らなければならない。現状公民館など会議室のためだけに使われている施設がある。児童館や行政サービスの施設も同様に目的別の施設が多すぎ普段は施設に対して利用者が少なく収益化も進んでいない様に見える。例えば学生が自習したりできる学習スペース、仕事できるワーキングスペース、ミーティングやリモート会議ができるスペースなどを含めて再開発を検討してほしい。シェアオフィスのように時間貸し、またはマンスリー契約で使用を募れる。現状民間のシェアオフィスは高額なのでニーズはあると思う。海外でそうした学習スペースがモールにあり学生や大人が年間契約して勉強スペースとして使っていた。スタバやタリーズなど禁煙系カフェを入れると自然と人が集まりテナントの賃料をとれるのではないか。千代田図書館の様に食堂を民間に委託して設置しても良いと思う。区民専用エリアや学生専用エリアがあると良い。防音設備ができるならば保育所、学童、コンビニ、行政サービスのカウンター、なども集約できれば効率的。児童館や公民館など利用目的別ではなく全てのサービスを集約して民間を入れ、利用料やテナント賃料を得て人の集まる場所、お金を落とす場所にすべきと思う。明るくモダンで若い人も積極的に集まる施設にしないと人が集まらず収益化の目標が達成できない。
3	2	また高齢化社会に向けての健康維持には筋トレや運動が欠かせない。八雲のジムエリアを広く充実させ多くの人が使え施設にすべきと思う。利用料の支払いを現金ではなくタッチ決済ができるように改善するかアプリでチケットを事前に纏めて購入してデジタル会員証などでスムーズに入館できると良い。どんな年代の人がどんな頻度で来ているかデータを集約することもできる。

提出者	枝番	意見内容(要旨)
3	3	パーシモンの1階の空きスペースにスタンドカフェを設置、賃料をとる。行政サービスのプリントができる機械を設置も願う。
3	4	現状行政施設は実務以上の広さの施設を有しているように見える。建て替える際に民間を入れテナント料を取りながら様々なサービスを受けられる施設が良いと思う。
3	5	行政の資金は運用できないのか、今後現金として保有し続けてもインフレの速度が早く目減りしてしまう。資金調達に目的やプランを明確にしたクラウドファンディングを立ち上げたり魅力的なふるさと納税を設置して広くマーケティングする。i'm donut? の定期便や目黒川の花見のクーポン、ドンキの利用券、蔦屋の商品券、病院など区外の人にとって目黒区には魅力が沢山あるエリアと思う。
3	6	高齢者に向けてアナログの募金を呼びかけることも大切と思う。煩雑になりましたが、思いついたことを簡単に述べさせて頂きました。

提出者	枝番	意見内容(要旨)
4	1	<p>「将来の公共施設を考える意見交換会」に参加して 区民参加の試みを評価しつつ、より実のある対話を望みます</p> <p>1. 区民が直接意見を述べられる場の意義</p> <p>こうした区民が直接参加し、率直な意見を述べられる場を設けたこと自体が大変評価に値する試みであったと思います。若いお母さんから年配の方まで幅広く、男女のバランスも良く、多様な層の参加が見られたことは貴重です。</p> <p>また、テーマを設けたグループワーク形式は、議論が散漫にならず、参加者が自分の意見を出しやすい構成でした。「区民が区政を“自分ゴト”として考える」第一歩として、今回のような場が生まれたことには大きな意味があります。</p>
4	2	<p>2. 説明不足と質疑の欠如は改善を要す</p> <p>一方で、区の説明は簡略であり、背景の理解を深めるには不十分でした。「財政危機」や「施設の老朽化」といった重いテーマを扱いながら、その経緯や根拠が示されず、質疑の時間もなかったため、多くの参加者が「何が危機なのか」「なぜ今なのか」を十分に把握できなかったと思います。</p> <p>「意見交換会」という名称であれば、双方向のやり取りがあつてこそ本来の意義が生まれます。説明と区民によるワークショップを2時間半に詰め込む形式では、理解の共有も深い議論も難しく、区民との協働にはなりません。区側との意見交換も必須です。</p> <p>今後は、まず丁寧な説明会と質疑応答を別途設け、そのうえで意見交換を行う二段階構成にしていきたいです。</p>

提出者	枝番	意見内容(要旨)
4	3	<p>3. 表面的になりがちなグループワーク:時間とテーマの再設計を</p> <p>グループワーク自体は良い形式でしたが、実際には時間が短く、どのグループも模造紙にカードを貼る作業に追われ、深掘りする余裕がなかったように見受けられます。</p> <p>提示された「役割カード」では、分類と説明が一致していないものもありました。例えばテーマ①の「暮らす」では、「宅配便やクリーニングを利用する」といった説明文が提示されるなど、公共施設の役割というテーマとの関連が分かりにくい箇所もありました。</p> <p>また、「今から15～20年後を想定して」との条件もありましたが、限られた時間でそこまでの将来像をイメージできたグループは多くなかったのではないのでしょうか。 カード内容を再精選し、区民が“いま考えられる将来像”を言葉にできる工夫を望みます。</p>
4	4	<p>4. 「自分ゴト化」の促進には区の方針提示が鍵</p> <p>第2テーマの「これから必要な役割を実現するために何ができるか」では、「自分ゴトとして考えてみよう」という設定自体は興味深いものでした。しかし、提示された「対応策カード」には、区民が直接実行できるものが少なく、現実感に欠けていました。</p> <p>区としての優先課題や財政方針の認識、施設マネジメントの現段階での方向性が明示されないまま「あなたなら何をしますか?」と問われても、参加者は的確に答えられません。 自助・共助・公助の線引きを明確にし、「区が何をするのか」「区民がどう関わるのか」を整理したうえで議論する構成が必要です。</p>

提出者	枝番	意見内容(要旨)
4	5	<p>5. コンサル依存からの脱却を</p> <p>進行・司会を含め、全体運営が外部コンサル会社に委ねられていたことに違和感を覚えました。</p> <p>区が「深刻な財政危機」を訴える場で、区職員が一步引いたまま、外部委託に依存して進行する姿勢では、区民に当事者意識や誠実さは伝わりません。</p> <p>区民と向き合うのは、区職員自身であるべきです。困難なテーマだからこそ、担当課の職員が直接説明し、司会し、質疑に応じることが信頼醸成の第一歩になると思います。</p> <p>2回目以降の意見交換会では、ぜひ区が前面に立って進行していただきたいです。</p>
4	6	<p>6. 「財政危機」の試算経緯と責任の所在を明らかにしてほしい</p> <p>「15年後に基金がゼロになる」という説明は衝撃的でしたが、それをどう認識し、いつ試算したのかが示されませんでした。</p> <p>区は平成24年度から施設見直しを進めてきたとのことですが、その間にどのようなリスク分析や対策を講じてきたのかも不明です。13年間の経過や、財政見通しの修正、失敗や改善の内容を明らかにしていただかないと、今後の計画を区民が信頼することは難しいのではないのでしょうか。</p> <p>当日の資料はコンサル会社が作成したものでしょうか。配布資料の11Pでは、経費の不足額をわざわざ赤色の炸裂マークと赤字で描いて強調しています。これには、財政危機を区民に向かって、人ごとのように「自然現象」のように、脅かし半分に扱っているとの印象しか残らず不快でした。まさか責任当事者である区の担当者が書いているとは思えなかったのです。主体的に区の政策判断として説明し、責任の所在と再発防止の視点を明確にするようお願いしたいです。</p>

提出者	枝番	意見内容(要旨)
4	7	<p>7. 長寿命化・再生の視点を軸に</p> <p>私の住むマンションでも大規模修繕を重ね、長寿命化を図っています。費用の高騰には住民合意のもとで工夫し、経費を節減し必要な補強をいたします。区の公共施設も同様に、リフォームやリノベーションによる延命・再生を、計画的に検討・実施してほしいです。</p> <p>財政が厳しいからといって、安易に未利用地を貸付・売却することは短期的な資金確保に過ぎず、将来世代への資産継承という本来の目的に反します。 長期的な修繕計画と区民参加のもとでの「公共資産の最適化」をめざしてほしいと思います。</p>
4	8	<p>8. 区民理解を得るには丁寧な説明が不可欠</p> <p>7,500億円という莫大な税金を投入する事業を区民に理解してもらうには、今回の意見交換会の形式と並行して、まず「区が直面する2つの課題」を、納税者である区民へ丁寧に説明する機会を設ける必要があります。</p> <p>今回の「意見交換会」の参加者は30名ぐらいですか。2回行っても延べ60名規模では、関心を持つ区民が参加したくても機会を得られなかったと言えます。 区の公式ウェブサイト上の、8分程度のYouTube動画もまだ視聴者は200名に満たない状況です。 3000名規模の利用者アンケートの結果なども踏まえ、少なくとも地区ごとに質疑応答を伴う説明と対話の場を設けることを提案します。段階的に理解と合意を深める努力をお願いしたいです。</p>

提出者	枝番	意見内容(要旨)
4	9	<p>9. 区民を「共に考える主体」として</p> <p>最後に、今回の意見交換会は、形式的には参加型であっても、実質的には「区が用意した枠内で意見を述べる」場に留まっていたと感じました。</p> <p>公共施設のあり方を考えるのは行政だけの仕事ではありません。区民こそが地域の未来を担う共創の当事者です。区には今回の公共施設マネジメントの推進にあたり、区民を「理解させる対象」としてではなく、「共に考え判断するパートナー」として扱う姿勢を示してほしいです。</p> <p>双方向の対話を重ねることで、初めて持続可能な公共施設のあり方を区民と共に作り上げることができるのではないのでしょうか。その姿勢こそが、今後の目黒区政の信頼基盤を支えるものと確信しております。</p> <p>以上、長文で失礼いたしますが、次回以降の参考にしていただければ幸いです。</p>

提出者	枝番	意見内容(要旨)
5	1	<p>区がこのたび公表した「公共施設等マネジメント推進に向けた基本的な考え方」を拝見し、公共施設の老朽化問題に区がどのような対応を考えているのか知りたいと考え、10月18日の意見交換会に参加させていただきました。</p> <p>考え方の説明の中に、「区民参画の取組(区民アンケート調査の実施や意見交換会の開催等)を行いながら検討を進めていきます」という記述があり、あえて「参加」ではなく「参画」という言葉を使っておられることに、区の思いを感じました。期待を持って参加させていただいたのですが、残念ながら期待外れの内容でした。</p> <p>その理由ですが、1点目は目黒区主催の意見交換会にも関わらず、運営を外部委託のコンサルティング会社(T社)に任せきりにしていたことです。T社の社員が会の進行を行い、グループワークのファシリテーターもT社の社員の方でした。区の職員は裏側におり、前面に出てこないことに違和感を感じました。</p> <p>2点目は公共施設マネジメントの考え方についての説明後、すぐにグループワークのパートに移り、説明に対する質疑応答の時間がなかったことです。</p> <p>公共施設の老朽化対策へのこれまでの取り組み状況や今後の対策について、区の考えを詳しくお聞きしたかったのですが、その機会がなかったことは大変残念に思います。</p> <p>私としては今回の意見交換会を「区と区民」の間で話し合い行う場と認識していたのですが、実際には「区民同士」で将来の公共施設のあり方について考える場となっており、区が不在だったと思います。区民同士の話し合いも重要で、個人的にも参考になる意見やアイデアがいろいろ聞けてその点は良かったのですが、いま必要なのはまず区と区民の話し合いだと思います。その点を踏まえて新たな機会を設けていただくよう是非検討をお願いいたします。</p>

提出者	枝番	意見内容(要旨)
6	1	<p>10月18日の「将来の公共施設を考える意見交換会」に参加させていただき、ありがとうございました。参加しての感想や疑問等を以下に記載させていただきます。よろしくご検討をお願い致します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会進行を含め、会の運営が法人に丸投げされた行政側不在の印象に違和感ありました。資産経営部担当者から「マネジメントの推進に向けた基本的な考え方」の説明があったものの、それに関する質疑応答の機会がなく、残念でした。 ・グループワークでは、進行役の司会、ファシリテーターから急かされた感じが拭えず、検討時間が足りませんでした。限られた時間とはいえ、意見交換会の時間設定にもう少し余裕が欲しかったと思います。 ・これからの公共施設の役割を考えるには、ハード面と、公共ゆえのソフト面を併せた施設サービスを包括的に捉えての検討が必要と考えます。 <p>今回のグループワークでは、役割の実現に向けての経営的視点から対応策を考える試みであったと捉えていますが、この手法で公共施設としての役割を検討し得るのか、非常に疑問を感じました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とはいえ、参加者の様々な角度からのご意見をお聞きできたことは、とても参考になりました。 ・今後の公共施設のあり方に関して、住民と行政の執行機関である区側とで直接話し合う機会を設けていただきたく、お願い致します

提出者	枝番	意見内容(要旨)
7	1	<p>9月11日の豪雨で、緑が丘や自由が丘で、床上浸水がありました。地下がある建物は水が行ってしまいました。</p> <p>そうならないように、排水できるように、ゴミなどで排水しづらくなならないようにして頂きたいです。</p> <p>川でどうにかできないなら、遊水地があるといいと思います。</p> <p>坂の途中に、遊水地を作って、普段、地表はソーラー発電しては、いかがでしょう？住宅地の真ん中に作ると、火事の際に燃え広がらないと、思います。</p> <p>実際に災害が起きたので、面積を減らすのではなく、対策のために増やすようにお願いします。</p>
8	1	<p>1. 時代の変化を見据えた施設設計について</p> <p>公共施設は、「今あるニーズ」に応えるだけでなく、「これからの社会」においても機能し続けるものであってほしいと感じています。意見交換会にも参加させていただきましたが、比較的高齢の方々の「これまでの目黒」に対する思いが強く反映されている印象を受けました。長年地域とともに歩んできた世代が、歴史や記憶に思いを寄せるのは自然なことであり、尊重すべき価値だと思います。</p> <p>ただ、次の時代の主役となる若い世代にとっては、その記憶や価値観が必ずしも共感を呼ぶとは限らないとも感じます。彼らは、コロナ禍を通じて物理的な空間に縛られない「居場所」のあり方を経験してきました。オンラインでのつながりや、バーチャルなコミュニティの形成は、彼らにとって自然な社会参加の形です。</p> <p>今の声に押されて物理的な会議室や集会所を残すことが、15年後に本当に必要とされる施設なのか？その問いを、立ち止まって考えていただけたらと思います。これからの主役となる世代が、目黒という地域とともに自分自身の経験や記憶を積み重ねていくためには、彼らが自分の物語を刻めるような余白が必要だと感じています。公共施設は、そのような余白を残す器であってほしいと願っています。</p>

提出者	枝番	意見内容(要旨)
8	2	<p>2. 時間軸の共有について</p> <p>意見交換の場では、「今」こうだからこうであってほしいという声が多く聞かれました。これは、施設の見直しが「今日明日」の話だと受け取られてしまうことが一因ではないかと感じています。説明の段階で15年後の話ということは共有されましたが、必要な役割は何か？という問いかけには、「今自分がこうだから」という軸で考える方が多かったです。ましてや、このような場に参加されない方にとっては、資料を読んでもタイムフレームがほとんど示されていないため、何年後の話をしているのか読み取りにくいです。</p> <p>今から10数年は現在の主役世代とも共存しながら両輪で運営していく期間であり、15年後に施設の総量を縮減していく、そのための準備期間であるはずです。このような時間軸をもっと明確に打ち出していただけると、区民の理解も深まり、過度な不安や誤解も減るのではないのでしょうか。</p> <p>たとえば、デジタル活用の例があります。現在はウェブで多くの手続きが可能になっていますが、それだけでは困る高齢者もいるため、紙や電話も併用されています。これは今の世代への配慮です。しかし15年後、20年後には紙の利用を減らしていくことが現実的です。</p> <p>今「紙をなくす」と言うと、今すぐの話だと受け取られて反対されがちですが、実際には「15年かけて準備し、段階的にはなくし(減らし)ます」という計画であるはずで、そのような中長期計画を明確にしないから、いざ減らそうとしたときに急な告知となったり、反対の声が大きく減らせなかったりするのではないのでしょうか。</p> <p>公共施設の見直しも同様に、段階的な変化であることを丁寧に伝えていただけると、計画の実現可能性も高まるのではないかと感じています。</p>

提出者	枝番	意見内容(要旨)
8	3	<p>3. 区民参加型の運営と制度設計について</p> <p>近年、「官民連携」や「民間サービスの活用」が公共施設マネジメントの中で強調されているように感じます。ただ、ここで言う「民間」が主に「民間事業者」を指している点に、少し違和感を覚えました。区民もまた「民間」であるはずなのに、制度設計の中ではその力が十分に活かされていないように思います。</p> <p>また、区民の参加が計画段階での意見募集にとどまっている印象もあります。施設の設計や方針決定の場に声を届けることは大切ですが、それだけでなく、実施～運用フェーズにおいても区民の力を活かせる仕組みがあると嬉しいです。そしてそのような場に、区民が自然に参加できる制度設計は考えられないでしょうか。</p> <p>たとえば、役割の明確化やインセンティブの工夫があると、より多くの人に関わりやすくなるのではないかと感じます。具体的には、施設の受付や簡易清掃、点検などの業務の一部を、利用団体がシフト制で担う仕組みを導入し、一定時間の協力に応じて会議室の無料利用権を付与するなど、双方にメリットのある制度が考えられるのではないのでしょうか。これは単なるコスト削減ではなく、施設への愛着や責任感を育む「参加型公共性」の実現につながるように思います。</p> <p>さらに、業務を通じて団体間がお互いを認知することになり、つながりも自然に生まれるのではないかと期待しています。受付で顔を合わせる、掃除を共にする、施設の使い方を共有する??そうした日常の接点が、地域内の協力関係や信頼の土壌になると感じます。</p> <p>「民間事業者との連携」だけでなく、「区民との連携」もまた、公共施設マネジメントの柱のひとつとして位置づけていただけたら嬉しいです。区民は単なる利用者ではなく、公共の担い手でもあると思います。</p>
8	4	<p>結びに</p> <p>インフラがハードを指す時代は終わりました。区民がつながり、程よい距離感でコミュニティに参加できる土壌もまた町のインフラのひとつです。</p> <p>かつては、ハコモノがそろっていることが区の価値でした。しかしこれからは、目に見えないインフラ「人と人との関係性」から生まれる安心・安全な町であることが、目黒の価値を高めるのではないかと感じています。</p> <p>未来の公共施設が、世代を超えて「つながり」と「参加」を支える場となることを願い、ささやかながら意見をお伝えいたします。</p>

提出者	枝番	意見内容(要旨)
9	1	<p>1. 公共施設は、地域社会の発展や住民自治に貢献する重要な役割を果たし、教育、文化、福祉、運動、コミュニティ形成、利便性など住民の社会生活の向上を目的として設置されている。幅広い住民が利用できる施設でもあり、地域の困りごとに対応するための活動の拠点としての役割も担っている。</p> <p>しかしながら、区の示した「考え方」は「経営的な視点」や「最適化」「コスト」などが強調され、区民が公共施設を利用することによって、どう自らの生活を向上させ潤いのあるものにするのか、いかに地域社会の一員として活動し地域に貢献していくのか、そうした姿が浮かんでこないし、将来への希望もわいてこない。</p> <p>区が公共施設を管理・運営しながら、区民生活の向上を図り、区民と力を合わせて地域社会やコミュニティ形成をどう発展させていくのか、そうした視点を盛り込むべきである。</p>
9	2	<p>2. 建設時から50～60年以上が経過すれば、公共施設をとりまく地域の状況や住民のニーズに変化があり、機械的にすべての施設をそのまま維持するために更新や大規模な改修をすることはできないのはその通りである。だからこそ、区民への説明や対話もコンサルタント任せにするのではなく、また、行政側からの方針や計画の一方的な押し付けではなく、区が責任とイニシアチブを発揮して区民に正確な情報を提供し、区民の参加のもとで施設の点検と維持・更新の計画づくりを進めていくことが必要である。</p>
9	3	<p>3. これまでの区有施設見直し方針のように、施設の床面積削減といった機械的な数値目標を立てるのはやめること。 以上</p>
10	1	<p>先日の意見交換会へ参加させて頂きました。</p> <p>大変有意義な会であったと思いますが、意見にも出ていたように最初の選択項目から参加者が選んでいくなど、もう少し丁寧な進行が望ましいかと思いました。選択項目は考えられていたと思いますが、かなりざっくりした印象をもちました。また今後も意見を聞く機会があるとのことでしたので、引き続き、説明会開催ほか、住民との意思疎通の機会をつくって頂けたらと思います。</p>

提出者	枝番	意見内容(要旨)
10	2	<p>公共施設の老朽化は、以前より分かっていたところであるが、昨今の物価高、また社会情勢の変化により、改めて考えていかなければならない状況かと理解しております。</p> <p>気になりました基金が底をつくという点ですが、元々そのための基金であろうと思うので「お金がないので保有面積を少なくする」という視点ではなく、「人口分布の変化により、必要なサービスを見直し、その充実を図る」とされた方が良いのではないかと思います。</p>
10	3	<p>また複合施設にすることが挙げられていましたが、住民にとって「近くにある」という、「区施設の最大の利点」が損なわれてはいけないと思いました。今後の高齢化社会、また子育て世代の利便性、地域のつながりを鑑みましても、各地域に拠点・サービスがあることは必須かと思えます。</p>
10	4	<p>最後に、トーマツの社員さんたちが、ファシリテーターに入って下さっており、それはそれでスムーズであったのかと思いますが、区職員さんたちでも十分にまかなえるのではないのでしょうか。</p> <p>「お金が底をつく」という前提であるのに、すでに「外部にお金をかけている」のは無駄をしているのではと捉えられます。</p> <p>目黒区には、優秀な有識者の方々が、多く住んでいらっしゃると思います。また意見にもあがっていたように、自分の住む地域の為に、目黒区の為に何かしたいと望んでいらっしゃる方も少なくないと思います。</p> <p>お金をかけてコンサルタントを雇うのではなく、区の有識者ボランティアを募ってはいかがでしょうか。</p> <p>そうした方が、この土地を本当に知った方々の視点から、より良い計画ができるのではないかと思います。</p> <p>最後に、日頃からの目黒区へのご尽力に心から感謝を申し上げます。</p>

提出者	枝番	意見内容(要旨)
11	1	ソフトとハードの両面から、施設とサービス内容の適正化を図る 施策と理解しました。財政逼迫 将来的予測 と時代の要請 が理由。他区も同様な状況かと思えます。如何に区民サービスの縮減を最低限にとどめ、PFI手法によらず、目黒区が知恵を絞り、独自に解決していくかが問われていく、先駆的取り組みを期待します。
12	1	①なぜいま、公共施設等マネジメントですか？ 区有施設見直しを何年もやってきたのではないのですか、区有施設見直しと何が違うのですか
12	2	②「経営的視点」で管理・活用というのは「儲けを出す」ということですか、経営的視点と言うのなら、まず、減価償却などの企業会計、予定価格の算定に際して不調にならないよう時価を取り入れるなど、区自ら行うべきことがあるのではないですか、こうした点はどうなっているのでしょうか
12	3	③国が自治体に公共施設管理計画の策定を要請してから10年経ちますが、めざましい効果はあったのであれば事例をお示しください、目黒区での成果はどうなののでしょうか
12	4	④今ごろ財政の見通し云々は、青木区政の失政ではないのでしょうか、目黒区はそんなに貧乏なのですか、青木区政で何に無駄づかいをしたですか 単に数字を示し危機感をあおるだけでは、区民は納得できません、真摯な説明と場合によっては区民に謝罪が必要です
12	5	⑤老朽化は50年前の建設したときからわかっていたはず、適時適切な計画をなぜ立てなかったのですか
12	6	⑥他の自治体より遅れている整備はどうするのですか、学校トイレのバリアフリーは23区中最低との新聞報道がありました

提出者	枝番	意見内容(要旨)
12	7	⑦以前から施設が多いことの原因とされている住区の見直しなど、そもそも根本的な見直しをやるのですか
12	8	⑧区の説明は公正に、区有施設アドバイザーは、説明の順番を間違えないこと、メリットを先に説明し、間違っても財政問題から説明しないこと、と言っています
12	9	⑨本気度を疑う広報めぐろの記事、9.15の公共施設等マネジメントはあれだけですか、1面全面でもおかしくありません、区民キャンパスのときとは扱いがまったく違います
12	10	⑩区の受益者負担は常軌を逸しています、駐輪場使用料の2倍値上げは公共料金にあるまじきことです
12	11	⑪10月に実施された意見交換会は、あの短時間で公共施設の役割とか持続させる方策と言われても、真剣に考えて答を出せません。また、区からきちんとした説明があって初めて考えられることではないでしょうか
12	12	⑫15～20年先と言っても、変るものもあれば変わらないものもある、少子化だから即学校を統合というのは余りにも安易な考え、小さな学校の意義もある、簡単に結論が出ることではない
12	13	⑬区民センターにタワーマンションはいりません